

寺社勢力の中世



CHIKUMA SHINSHO

近世時代の歴史書は、やがてを貴重と歴史の形としてしか聞いてこなかった。その豪勢そのもので開拓している。一史料の内歴史的な貴重さはもじらん。政治シャアやおもな武力など、寺社勢力の歴史の大手本は、時代をなすものないはずがない事例ばかりなのだが

著者
73-4

[寺社勢力の中世 下载链接1](#)

著者:[日]伊藤 正敏

出版者:筑摩書房

出版时间:2008-7

装帧:平装

isbn:9784480064356

日本文明の大半は中世の寺院にその源を持つ。最先端の技術、軍事力、経済力など、中世寺社勢力の強大さは幕府や朝廷を凌駕するものだ。しかも、この寺社世界は、国家の論理、有縁の絆を断ち切る「無縁の場」であった。ここに流れ込む移民たちは、自由を享受したかもしれないが、そこは弱肉強食のジャングルでもあったのだ。リアルタイムの史料だけを使って、中世日本を生々しく再現する。

作者介绍:

1955年東京都生まれ。東京大学大学院人文科学研究科修士課程修了。思想家・中世史研究家。一乗谷朝倉氏遺跡調査研究所文化財調査員、文化庁記念物課技官、長岡造形大学教授などを歴任。現在は研究・執筆活動に専念している。文献史学、考古学、文化財保護行政などをフィールドとしている。研究対象は日本村落史と中世寺社勢力論。

目录: 序章 無縁所一駆込寺と難民

1章 叢山門前としての京

2章 境内都市の時代

3章 無縁所とは何か

4章 無縁VS.有縁

終章 中世の終わり

・・・・・ (收起)

[寺社勢力の中世](#) [下载链接1](#)

标签

日本战国

评论

[寺社勢力の中世](#) [下载链接1](#)

书评

[寺社勢力の中世](#) [下载链接1](#)